

来週の市場とレート予想

上田八木短資株式会社

	6/13(月)	6/14(火)	6/15(水)	6/16(木)	6/17(金)
無担保O/N			△0.086%	~ 0.000%	
銀行券	+ 900	ト ン	△ 1,000	△ 1,000	△ 2,000
財政他	△ 3,200	△ 2,000	+ 52,000	+ 1,000	ト ン
資金需給	不 2,300	不 2,000	余 51,000	ト ン	不 2,000
主な要因	国庫短期証券発行・償還(3M)	源泉税揚げ	年金定時払い 国債発行(2年)		
オペ期日	共通担保(全店) △ 2,500 CP等買入 △ 200 国債補充供給 + 100				
オペスタート	共通担保(全店) + 2,100 ETF買入 + 100	平成28年熊本地震にかかる 被災地支援オペ + 400 短国買入 + 17,500 国債買入 + 12,400			
(日本)	法人企業景気予測調査(4-6月期)		日銀金融政策 決定会合(1日目)	日銀金融政策 決定会合(2日目) 黒田日銀総裁会見 対外体内証券売買(前週分)	
(海外)		米 FOMC(1日目)	米 FOMC(2日目) 米 鉱工業生産(5月)	米 新規失業保険申請件数(11日終了週) 米 消費者物価指数(5月) 欧 ECB経済報告 欧 ユーロ圏消費者物価指数(5月、改定値) 英 英中銀、金融政策発表	米 住宅着工件数(5月) 欧 ECB総裁講演(ミュンヘン)

【インターバンク市場】

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	△0.05 ~ 0.000
SPOT 2M	△0.05 ~ 0.001
SPOT 3M	△0.04 ~ 0.001
SPOT 6M	△0.07 ~ 0.001

<インターバンク>

当座預金残高は週初282兆7,300億円始まり、7日の国債買入オペ・国庫短期証券買入オペ等の要因から増加して、週末には285兆6,100億円となった。

無担保コールON物は、概ね△0.075%~△0.025%のレンジで取引され、地銀や証券の調達意欲は引き続き旺盛で、同加重平均金利は△0.050%~△0.049%となった。

ターム物は、1W~1M物が△0.05%~0.00%で取引された。

9日に発表された「日本銀行当座預金のマクロ加算残高にかかる基準比率の見直しについて」において、2016年6月~8月積み期間における基準比率は7.5%と定められ、その結果、3積み期間におけるマイナス金利適用残高(政策金利残高)は、平均して約10兆円台が見込まれる。

来週の予定は、国内では4~6月期の法人企業景気予測調査(13日)、日本銀行金融政策決定会合(15-16日)、海外ではFOMC(14-15日)、5月の米鉱工業生産(15日)、5月の米住宅着工件数(17日)等が挙げられる。

【オープン市場】

CP3M(a-1+)	0.000 ~ 0.005
TDB 3M	△0.300 ~ △0.200
現先(on/1w)	△0.100 ~ 0.000

<CP>

今週の入札発行額は約4,900億円で、期落ち額約4,200億円(金融機関・ABCP除く)と同程度であった。商社や不動産で大型案件が観測された。a-1格相当銘柄の3M物入札発行レートは、0.0010%割れで推移した。現先レートの中心は、-0.100%~0.000%程度で推移した。

来週の期落ち額は6,200億円程度となっている。

<TDB>

2日に国庫短期証券3M第611回債の入札が行われたが、最高落札レートはそれぞれ△0.2545%(前回債△0.2605%)、平均落札レートは△0.2661%(同△0.2729%)と前回債と比べて利回りは上昇した。セカンダリーは3Mで△0.26%近辺の地合いとなっている。6M、1Yは目立った出合は見られなかった。

来週8日に6M、9日に3Mの入札が予定されている。

<レボ>

足許GCは週初△0.10%近辺から始まった。週央からは短国の発行が続き、10日受渡しでは△0.09%~△0.085%に上昇、13日受渡しも△0.08%台の出合いが中心となった。週末には短国・国債買入オペが合計2兆9900億円オファーされ、△0.10%近辺まで低下し越週した。SCは10年336・338回債が週を通して△0.20%~△0.15%近辺で推移。10年342回債は週央からビッドが増加、週末にはO/N物で△0.20%近辺の出合いも見られた。他には2年363・364回債、5年125・126・127回債、10年315・330・340・341回債、20年152・155・156回債、30年48・49・50回債等に引合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。